

第4回 大宮駅東口周辺公共施設再編推進本部会議〈議事録〉

【日 時】 平成29年3月29日（水） 10時00分～11時15分

【場 所】 さいたま市役所 4階 政策会議室

【出席者】 本部長 : 副市長（都市局担任）

副本部長：技監

本部会員：都市戦略本部長、総合政策監、市民局長、スポーツ文化局長、経済局長

都市局長、都市局理事、大宮区長、副教育長（代理出席：管理部長）

以上11名

【議 事】 ①公共施設再編／公共施設跡地活用全体方針（たたき台）

②検討スケジュールとプロジェクトチームについて

③外部意見の導入について

議事①：公共施設再編／公共施設跡地活用全体方針（たたき台）

- ・ 大宮駅周辺地域戦略ビジョン（以下、「ビジョン」とする）の実現のために、具体的な方針や行動計画を定めており、優先的に進めていくプロジェクトである。
- ・ ビジョンで掲げる将来像の実現に向けて、市民や専門家の意見を導入しながら、市民と共有できる方針として全体方針を策定する。
- ・ 氷川参道沿いに集中している公共施設を積極的にまちづくりに活用し、駅周辺の賑わいを氷川参道沿いに導き、氷川参道沿いの歴史・文化の薫りをまちなかに取込むことで、まちの奥行きを形成していきたい。
- ・ 公共施設再編ならびに跡地活用について、4つの全体的な方針を位置づける。
 - ①「東日本連携」 : 東日本を支える拠点都市としてのまちづくりの推進
 - ②「個性の継承」 : 個性を失わず、大宮の魅力を更に強化する
 - ③「公民連携」 : 積極的に民間の力を導入する
 - ④「市民との共有」 : 市民と将来像を共有しながらまちづくりを推進する
- ・ 推進本部会議の中で全体方針（原案）をとりまとめたからは、それぞれのエリアでプロジェクトチームを設立し、市民や専門家の意見を導入しつつ、個別の検討をしていく。

●駅前賑わい拠点

- ・ 現大宮区役所は、新庁舎の供用開始後は速やかに解体し、一時的な公共空間の利活用を行う。
- ・ 駅前にて GCS 整備が始まってからは、駅周辺の機能移転先として活用する。この時期には、大宮小学校の将来の方向性を検討していく必要がある。
- ・ 駅前の整備が概ね完了してからは、区役所跡地と大宮小学校の一体的な活用を前提に、対流拠点としての機能強化に資する土地活用を行う。また、これまでの検討を踏まえ、大宮小学校への中部公民館の機能移転を、このタイミングで実施する可能性について検討する。

●地域連携拠点

- ・ 通常時には、周辺の緑と調和した憩いの空間と、一体的な交流・歴史・文化等の場として整備する。また、有事の際には区役所機能と連携した安心安全の拠点としての整備を目指す。
- ・ 氷川緑道西通線（南区間）の開通と大宮区役所新庁舎の供用開始後は、市民会館おおみや跡地と山丸公園を一体的に活用し、新たに創出されたオープンスペースと区役所新庁舎が調和した活用を行う。また、大規模災害時には災害活動拠点として機能導入を行う。

●氷川神社周辺エリア

- ・ 積極的に公民連携手法を活用するとともに、周辺の地域資源と調和し、氷川参道沿いという立地に相応しい魅力的な土地活用を行う。
- ・ 大宮図書館はH31年に機能移転するが、現建物は耐震性に問題はないとされているため、解体するか否かなど、隣接する市立博物館も含めて今後のあり方を検討していく必要がある。

議事②：検討スケジュールとプロジェクトチームについて

- ・ 全体方針のたたき台については、本日まで指摘いただく内容を修正・反映し、今年度中に原案としてとりまとめる。
- ・ 来年度は、市民や専門家の意見を導入するとともに、都市経営戦略会議への諮問や、議会への報告、さらにはパブコメ等も挟みながら、全体方針の策定を目指す。

議事③：外部意見の導入について

- ・ 市民意見の導入方法については、現段階では、オープンハウスやワークショップを提案している。
- ・ 実施にあたっては、アーバンデザインセンター大宮[UDCO]とも連携しながら進めていきたい。

< 意見等 >

- 各公共施設の今後のスケジュールの部分について、供用開始が決定しているものとそうでないものが区別できるような表現にするべき。
- 全体方針を市民に対し公表するにあたり、「今後検討していきます」という表現は控えるべき。開発の方向性まで記載する必要はないと思うが、市内部では方向性を定めておくべき。
- 必要のなくなった公有地・市有地は、売却するののも一つの手段である。
- 大宮駅周辺にはオフィス機能やホテルを導入していくべきだと考えるが、駅前に人が住むことで賑わいを創出できるため、住宅を排除する必要はないのでは。
- 大規模マンションを誘致する場合、人口増による小中学校の教室不足が懸念されるため、教育委員会と事前協議をお願いしたい。
- 全体方針には、大まかな方向性（雰囲気など）は明確に記載しても良いのでは。
- 「大宮らしさ」の「大宮」とは具体的にどの範囲なのかを明確にすべき。
- プロジェクトチームがあてがわれている部分だけの議論ではなく、道路のような都市基盤と連動した土地利用を検討すべき。
- 公共施設再編後の将来像がイメージできる表現を入れるべき。
- 大宮小学校の大規模改修が H32,33 年に予定されているので、早い段階から検討を始めるべき。
- H28 年 3 月に、国の計画である首都圏広域地方計画で「大宮」が東日本の玄関口となる連携・交流拠点として位置づけられ、この計画は 10 年ごとに更新されることから、「運命の 10 年」と称されている。この「運命の 10 年」の中で、具体的な施設の完成までは実現できないかもしれないが、まちの方向性を示すとともに、出せる成果についてはしっかりと出していくべき。
- 全体方針を策定するにあたり、市民や専門家から一方的に意見を導入するのではなく、我々から市民に対し情報を提供することで、双方向のコミュニケーションをとっていくことが重要だ。
- 本日の指摘事項は修正すること。また関係部局に全体方針（たたき台）に関する意見照会を行い、そこでの指摘事項も修正した上で、改めて推進本部会議を開催すること。

< 事務局からの連絡事項 >

- 幹事会（部長級会議）／WG（課長級会議）は、全体方針（たたき台）を修正後、6 月頃に開催予定。
- 推進本部会議（局長／副市長級会議）は、7 月頃に開催予定。

（ 以 上 ）